



令和8年度 校長よりメッセージ『竜北生、G o!!』(竜北生の皆さん・保護者の皆様へ⑭)

「竜北勢豪」⇒「竜北生、G o!!」

校長 尾崎 淳一



7月になりました。陰暦で「文月」(ふみづき、ふづき)と呼ばれますが、「七夕に短歌を読む(文を読む)月」という意味とも言われます。

2日前、竜北中では「選手壮行会」が行われました。3年生の気迫と1・2年生の心遣いを感じられる、温かい会になりましたね。私の役割は、5分間の「校長の話」です。

素晴らしい「決意発表」をありがとうございました。この気合いで竜北中が活躍できなければ、それは校長の責任です。命より大切なこの髪をばっさり切って反省するしかありません。

さて、「本日の四字熟語」の時間です。「竜北勢豪」、竜は北方から訪れ、その勢いはすさまじく無敵な様子」を表します。いよいよ今週末から、運動部で知立刈谷地区の選手権大会が始まります。文化部はコンクールやライブなどの大きな舞台が控えています。先日、校長室で報告してくれたように、陸上部の2名はすでに8月に山口県で行われる全国大会出場を決めました。この勢いに乗り、竜北チームの好勝負を期待しています。私も、出場する準備は整っています。何と、ついに竜北体操服を買いました。どこから見ても竜北生です。絶対にバレません。いつでもソフトテニス部へ呼んでください。



「過去と他人は変えられない。変えられるのは未来と自分だけ」の言葉どおり、己に勝ち、未来を変えてください。皆さんを支えてくださったご家族や竜北中の先生など多くの方々への感謝、約2年間、切磋琢磨してきた大切な仲間への想いを胸に、全力で戦う竜北生の皆さんを私も全力で応援します。皆さんのユニフォームには、「竜北」「RYUHOKU」の文字が記されているはずです。苦しい時には、その文字を見つめてください。絶対勝てない相手は存在しないはずです。だって、皆さんは竜北生なのですから。

最後に、皆さんに謝らなければなりません。実は、「竜北勢豪」などという四字熟語は、この世に存在しません。これはもちろん、有名な「竜北生、G o!!」の当て字です。

竜北生の活躍を願い、全員で気合を入れます。一発勝負です。本気で行きましょう。「竜北生、G o!!」



写真は3年生の凛々しい姿です。後輩のエールにじっと耳を傾け、先輩として期するものがあるのでしょう。壮行会の準備や進行は、2年級長会が担当したと聞いています。この地区大会が、3年生と共に闘える最後の大会となるかも知れません。試合に出られれば全力プレーで、そうでなければ精一杯の応援で、3年生を陰から支えてください。今、サッカー部の応援歌が、校長室まで聞こえてきます。一丸となって盛り上がりましょう！

シイタケ栽培の大成功で調子に乗った私は、ある生き物の育成にもチャレンジしようと考えています。「何」を育てるかはまだ内緒です。孵化と飼育がなかなか難しいとのこと。成功したら自慢します。失敗ならば口を閉ざします。

第7号で、私はこのように記しました。「ある生き物」とは、これです。左は孵化から2日目、右側は9日目です。つぶらな瞳が可愛いのですが、一説によると恐竜時代よりも前から、変わらぬ姿で生きているとのこと。残念ながら、私はまだ生まれていませんでした。



「自分」と「未来」は変えられます。多くの声援を背に、夏に輝け、「竜北生、G o!!」

今週末から、「知立刈谷地区中学校選手権大会」が始まります。約2年間で蓄えた力を、余すところなく発揮してくれれば嬉しいです。竜北生へのご声援を期待しています！

(令和8年7月1日)